

1 大会参加にあたっての対策

- (1) 大会に参加する選手は、自己申告書（健康アンケート兼保護者承諾書）の内容を理解し、保護者承諾印のうえ、大会当日のアピアー時に提出すること（裏面の体調と行動の記録も記入）。
 - (2) 埼玉県高等学校ゴルフ連盟のガイドラインについて顧問から指導を受け、理解した上で参加すること。
（大会当日の朝 37.5° 以上の発熱、2日以内の発熱がある場合など、確認項目をすべてクリアしないと大会参加はできないので、自己申告書の内容をよく確認しておくこと。）
- ※ 当日、体調に問題があると主催者側において判断した場合は、検温を実施し、発熱等の症状が確認された選手については大会参加を認めない。または、棄権してもらう場合があります。

2 大会運営における対策

※基本事項

- (1) マスクの着用（プレー中以外）、手洗い、うがい、咳エチケットを励行する。
- (2) アルコール消毒液を積極的に使用する。（ゴルフ場内各所に設置してあります。）
- (3) 常にソーシャルディスタンスを意識した行動をとり、密を避けるよう努める。

※大会当日

(1) 会場まで

①選手は各自で大宮ゴルフコースまで移動する。

（大宮ゴルフコースの送迎バスはなし、保護者送迎または駅からタクシーの移動を推奨。）

④大会参加者以外の関係者（保護者の皆様）へ

○選手自己申告書の内容と同様、「有」がある場合は、送迎及びゴルフ場への入場を認めません。

○ゴルフ場においては、駐車場内のみを行動範囲とし、コース、クラブハウス内をはじめとする施設（トイレなども含む）は、原則として使用を禁止とします。

○大会参加者以外の関係者と選手との接触も最小限にとどめ、会話も短時間となるようにご配慮下さい。

②選手はユニフォームでゴルフ場まで移動し、そのままアピアーをする。

（ロッカーは荷物を置くのみで、帰りの着替えやハーフ終了後、軽食を取りに行く場合のみ一時的に使用可能とする。また、ゴルフシューズはゴルフ場敷地内のみでの着用とする。）

(2) アピアー（クラブハウス内マスター室横）

①自己申告書（健康アンケート兼保護者承諾書）の提出をする。

②アピアーの際、マスター室前の非接触体温計で体温の確認をする。

(3) コース内

- ①スタート前のパッティンググリーン上は密集、密接が予想されるため、社会的距離（2m）の確保が難しい場合はマスクを着用してパッティング練習を行うか、なるべく会話をしないよう心がける。
- ②プレー中、コース内においてもマスク着用を推奨する。ただし熱中症予防のため、2m以上の社会的距離が確保できている場合はマスクを外しても構わない。
- ③ピンは抜かないことを推奨する。バンカー内ではレーキを使用し均すこと。
- ④体調が悪い場合は、無理をせず途中で棄権すること（棄権の場合はマーカー変更があるので、必ず大会本部・競技委員に連絡すること）。

(4) 昼食

大会はスループレーで実施するが、ターンで30分の休憩時間があるので、その間軽食を摂る場合は各自で用意し、クラブハウス外（カート置き場も可能）に出て摂ること（但しロッカーまで軽食を取りに行くことは可能。その後、速やかに外に出て摂ること）。

(5) アテスト

ゴルフバック置き場で行い目印の上で待機。ゴルフバックはOUTへ向かう途中のポート下（掲示あり）に整然と並べる（雨天時はクラブハウス内へ変更）。

(6) 終了後

- ①ロッカールームは着替えのみ利用可とし、着替え（私服は不可）終了後速やかに退室し、密にならないよう、他選手との接触は避け、速やかに帰宅すること。
- ②表彰式は実施しない。大会結果は顧問を通じて後日連絡する。または、関東高等学校ゴルフ連盟のホームページにて確認すること。